

クリムト (2006)

KLIMT

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 オーストリア／フランス／ドイツ／イギリス

色彩 Color

時間 97分

初公開日 2006/10/28

公開情報 メディア・スーツ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

私の自画像はない。自分自身に興味がない。
むしろ他人、特に女性に強く惹かれるのだ。

【解説】

「マルコヴィッチの穴」「危険な関係」の実力派ジョン・マルコヴィッチが、19世紀末から20世紀初頭にかけて活躍したオーストリアの天才画家グスタフ・クリムトを演じる伝記ドラマ。監督は「見出された時―「失われた時を求めて」より―」のラウル・ルイス。

1900年、パリ万博に出品されたクリムトのスキャンダラスな絵画は、保守的なウィーンでの酷評をよそに賞賛をもって迎えらる。その会場で、美しい女性レアを目にして心奪われたクリムトは、恋人ミディの嫉妬にもかかわらず、文化省の書記官の計らいで、レアとの密会を果たし、彼女の肖像画を描く約束を取り付ける。その後ウィーンに戻ったクリムトは、国からの助成金を打ち切られたことでますます反発を強め先鋭的になっていく。恋人ミディ、絵のモデルたち、そして“宿命の女（ファム・ファタール）”レア、愛に奔放なクリムトの心は次第に現実世界を飛び越えていく…。

【クレジット】

監督	ラウル・ルイス	Raoul Ruiz	
製作	ディエター・ポホラトコ	Dieter Pochlatko	
脚本	ラウル・ルイス	Raoul Ruiz	
撮影	リカルド・アロノヴィッチ	Ricardo Aronovich	
編集	バレリア・サルミエント	Valeria Sarmiento	
音楽	ホルヘ・アリアガータ	Jorge Arriagada	
出演	ジョン・マルコヴィッチ	John Malkovich	クリムト
	ヴェロニカ・フェレ	Veronica Ferres	ミディ
	サフロン・バロウズ	Saffron Burrows	レア
	スティーヴン・ディレイン	Stephen Dillane	大使館書記官
	ニコライ・キンスキー	Nikolai Kinski	エゴン・シーレ
	サンドラ・チェッカレッリ	Sandra Ceccarelli	セレナ
	ポール・ヒルトン	Paul Hilton	公爵
	エルンスト・シュトッツナー	Ernst Stotzner	ヘルテル大臣
	アグライア・シスコヴィッチ	Aglaiia Szyszkowitz	ミッツィ